



7月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2021年 7月1日

今月の行事予定



- 5・19・26日 礼拝
 発育測定(13日 うさぎ・いちご 14日 もも・さくら・
 ほし 15日あひる・ひよこ)
 15日交通教室
 19日 クッキー作り 21日 誕生会
 22日 海の日(祝日) 23日スポーツの日(祝日)
 28日 避難訓練 集金日

****保育目標 照育 ーおそだてー**
***ほとけさまや、周りの人たちにありがとうの感謝の気持ちを持つ。**
***体を十分使って、水遊びや夏のあそびを友だちと楽しむ。**

【法話】

お経

「きーみょーうむーりょーうじゅによらいー
 なーもーふーかーしーぎーこー」

先月6月の職員のコロナワクチン接種に就きまして、保護者の皆さま方には、ご理解ご協力頂きましたこと御礼申し上げます。また7月も同様によりしくお願い致します。ワクチン接種が全国的に、かなり進んでいます。

浄土真宗宗祖親鸞聖人の語録である『歎異抄』に「薬あればとて、毒をこのむべからず」とあります。

ワクチンは、治す薬ではなく、感染率と重症化を低くする効果のみです。2回接種後も、当然今まで同様の感染予防防止対策は必要となります。気を引き締めたく思います。

毎週月曜日の礼拝では、「お正信偈」の最初の二句を歌にした「幼児のおつとめ」を、みんなで大きな声で、おつとめしています。

「お経」って何でしょう？お経は亡くなった人のために読むとか、お経を読むと良いことがあると思っている人がいますが、そうではありません。コロナが治る訳ではありません。お経は、呪文でも、おまじないでもありません。

お経は、お釈迦さまのお話しされたことを、後の人たちが、文字を作り、文字に残してくださったものです。お釈迦さまは、今から二千五百年の昔、老若男女、いろいろな人々に、たくさんのお話をされました。その仏さまのお話、真実の教えが説かれているのがお経なのです。生きている私のための教えが説かれているのですから、私が聞かせていただかなくては意味がありません。でも漢文に訳されたお経は難しいですから、私たちは「ご法話」を聴聞してお経のお心を聞かせていただきます。

お経を仏さま(阿弥陀如来さま)に向かって読むのは、仏徳讃嘆です。阿弥陀さまのお徳を讃嘆(ほめたたえ)させていただき、お経のお心をいただきますように。

合掌

「おたまじゃくし」



6月初め、うさぎ組にいくと、子どもたちが「来て来て！」と窓際のところまで手を引き、連れて行ってくれました。見ると水槽があって、中には小さな小さな「おたまじゃくし」が数匹…。「わあ～かわいいね！！」と声をかけると、嬉しそうに水槽の中を覗き込んでじーっと観察。まだまだ「おたまじゃくし」という言葉が上手く言えないのですが、水槽の中の様子を見ては「あっ！おった」「動かん！」と言っては、つついてみたり、ゆすってみたり、水槽の前はいつもにぎやか満員状態で、一生懸命に様子を伺っては教えてくれる子どもたちでした。担任の先生たちはお昼寝の時間に水槽のお掃除や水の入れ替え、成長記録を写真に撮ったりと大忙し！みんなで日々の成長を見守っていたところ、「足が一つ出てきた！」「もう一つも！」「かえるになってる！」子どもたち、先生たちが一緒になって、おたまじゃくしの変身ぶりに大喜び！先日「かえるさんになったら逃がしてあげようね」と保育園近くの田んぼに「元気だね」とお別れ…。

小さいながらも生き物の成長を感じる良い経験となったようです。

さて、ほかのクラスでも、「カブトムシ・クワガタ・ちょうちよ」など観察中です。今後の成長が楽しみです。

「あそぼう・あそぼう」

「園のごあんない」年間行事でお知らせしていた「あそぼう・あそぼう」ですが、今年度は以上児さんの異年齢保育の取り組みを、年間を通して「あそぼうあそぼう」の活動として進めていきたいと思っております。まだまだ始まったばかりですが、ホールで一緒に食事をしたり、園庭で異年齢での「夏遊び」をダイナミックに楽しんだり、時には年長さんが「先生」になったり、小さいお友だちのお世話をしたり、異年齢のかかわりを存分に楽しみたいと思っております。